

差出人: csih@googlegroups.com は hidekih@wine.plala.or.jp の代理
送信日時: 2017年10月3日火曜日 22:18
宛先: csih@googlegroups.com
件名: [CSIH] 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2017年10月3日発行
添付ファイル: 2017年度全国大会案内（中部産遺研用）_Ver.4.docx; 2017_申込用紙.pdf; 臥雲辰致生誕175年記念コンサート.pdf

◆ 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2017年10月3日発行 ◆

【中部産業遺産研究会の入会案内はこちら】
<http://csih.sakura.ne.jp/nyuukaiannai.html>

【中部産業遺産研究会のホームページはこちらから】
<http://csih.sakura.ne.jp/index.html>

【中部産業遺産研究会の書籍のご案内】
<http://csih.sakura.ne.jp/syoseki.html>

【 CONTENTS 】

- 【1】 中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定
- 【2】 産業考古学会 2017年度全国大会(名古屋)のご案内【見学会の件で追加情報あり】
- 【3】 臥雲辰致生誕175年記念コンサートのご案内【New】
- 【4】 トヨタ産業技術記念館「豊田佐吉生誕150周年特別企画 第五弾 特別展『引き継がれる佐吉の志 ～私たちの暮らし、トヨタグループと～』開催のお知らせ【再送】

【1】 中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定

- 産業考古学会 2017年度全国大会 2017/10/27～29
 - プレ見学会 2017年10月27日(金)午後(四日市 末広橋梁・潮吹き防波堤ほか)
 - 全国大会 2017年10月28日(土)トヨタ産業技術記念館
 - 見学会 2017年10月29日(日)終日(松阪地区の産業遺産)
- 豊田佐吉生誕150周年記念行事 2017/11/12(日) トヨタ産業技術記念館
- 第149回例会/パネル展講演会 2017/12/03(日)13:00～17:00 名古屋市都市センター予定

【2】 産業考古学会 2017年度全国大会(名古屋)のご案内【見学会の件で追加情報あり】

産業考古学会 2017年度全国大会(名古屋)は、まだお申し込みが可能です。

【10月3日の追加情報】

10月29日の見学会は、当初マイクロバス1台での移動を考えておりましたが、参加者がマイクロバス1台分を超えたことから、マイクロバスを2台出すこととしました。

10月3日の時点で、あと20名程度、定員に空きがありますので、見学会だけ参加されたい方も参加の申し込みを受け付けます。先着順となります。

(28日の全国大会、27日のプレ見学会もまだお申し込みが可能です。)

29日の見学会は、個人ではなかなか見学しにくいところに行きますので、ご参加下さい。

お申し込みに関する詳細は添付ファイルを御参照下さい（Word ファイル、PDF ファイル）。

中部産業遺産研究会会員の皆様は、産業考古学会会員と同じ区分での参加が可能ですから、できるだけ多くの皆様のご参加をお願い致します。

中部産業遺産研究会会員の皆様は、参加申し込みを、石田正治先生まで電子メールにてお願い致します。その際、

- 1) 氏名・生年月日・連絡先（生年月日は見学会の保険契約で必要）
 - 2) 10月28日の大会に参加するかどうか（学生の場合はその旨もお知らせ下さい）（会員：1000円）
 - 3) 10月28日の懇親会に参加するかどうか（5000円）
 - 4) 10月28日の大会参加時の昼食が必要かどうか（1000円・弁当代）
 - 5) 10月27日のプレ見学会に参加するかどうか（資料代のみ500円・交通費は各自実費負担）
 - 6) 10月29日の松阪の産業遺産見学会に参加するかどうか（3500円・松阪駅集合・解散）
- を必ずお知らせ下さい。

石田正治先生メールアドレス

ishida96@tcp-ip.or.jp

石田正治先生へのメールでの参加申し込み後、このメールに添付のPDF ファイルの振込用紙の記載に従って、郵便振替にて参加費を10月10日までにお振り込み下さい。

添付のPDF ファイルの「払込取扱票」をお手元のプリンタで印刷しても、郵便局ではそのまま使えません。そこで、郵便局備え付けの青い「払込取扱票」に転載して頂く必要があります。

なお、振込費用は参加お申し込みの方のご負担でお願い致します。

全国大会の内容の詳細は、

http://www.tcp-ip.or.jp/~ishida96/IA/JIAS_NC_2017.html

に記載していますので、そちらを御参照下さい。

産業考古学会会員の方で、参加をお申し込みの方は、既にお手元に郵送されているニュースレターに同封の振込用紙にて、参加のお申し込みをお願いします。

不明な点がありましたら、石田正治先生にお問い合わせ下さい。

ishida96@tcp-ip.or.jp

【3】臥雲辰致生誕 175 年記念コンサートのご案内【New】

2017年10月5日木曜日に、松本市民・芸術館 小ホールにて、18:30（開場 18:00）から、「臥雲辰致生誕 175 年記念コンサート」が開催されます。
詳細は添付ファイルをご覧ください。

【4】トヨタ産業技術記念館「豊田佐吉生誕 150 周年特別企画 第五弾 特別展『引き継がれる佐吉の志 ～私たちの暮らし、トヨタグループと～』開催のお知らせ【再送】

2017年10月7日（土）～2017年12月10日（日）の期間、トヨタ産業技術記念館において

豊田佐吉生誕 150 周年特別企画 第五弾特別展

『引き継がれる佐吉の志 ～私たちの暮らし、トヨタグループと～』が開催されます。

ご案内は

<http://www.tcmit.org/information/news/2017/09/23630>

にございますので、ご覧頂けますようお願い致します。また、ぜひ特別展においで下さい。

期間中の11月12日（日）14:00～16:00、大ホールにて

国立科学博物館の鈴木一義先生（理工学研究部 科学技術史グループ グループ長）

の記念講演会「豊田佐吉の生きた時代とその夢」が開催されます。

こちらは参加無料となっておりますが、参加申し込みをお願いする可能性があります。

中部産業遺産研究会会員の皆さまへ
トヨタ産業技術記念館関係の皆さまへ

2017 年度全国大会（名古屋大会）のご案内
2017 年度全国大会実行委員会

名古屋を含む中部地方は、古来からモノづくりの盛んな地域ですが、今回はその中で「伝統産業から新たな事業まで」として、繊維産業から MRJ、ロケットまで、幅広く取り上げることにしました。

大会・講演では、名古屋地区の産業や技術の変遷についても取り上げます。会場となるトヨタ産業技術記念館では、普段非公開の施設見学も計画しています。メイン・ツアーの見学先には、三重県松阪の産業遺産探訪として、伝統産業の松阪木綿の藍染めと織布の工場、資料館などを見学します。プレ・ツアーでは、国内現役唯一の跳開式可動橋で重要文化財の末広橋梁をはじめ、四日市旧港の産業遺産を見学します。

みなさまのご参加を心からお待ちしています。

全国大会 会場・会費・プログラム
共催：中部産業遺産研究会
トヨタ産業技術記念館

《会場》

10月28日(土) 10:00~17:00 (受付開始 9:30)

トヨタ産業技術記念館 ホールA

(名古屋市西区則武新町 4 丁目 1-35 Tel : 052-551-6115(代表))

名鉄本線「栄生(さこう)」駅から徒歩 5 分以内。
タクシーを利用される方は JR「名古屋」駅が便利です。なお、車での来館はお控え下さい。

《プログラム》

- ① 研究発表（第1部） 10:00~11:40
- ・森 亮資「キルド鋼塊における偏析生成プロセス解明の研究」
 - ・柘植芳之「名古屋テレビ塔の保存資料調査のデータ入力フォーマット作成」
 - ・伊東 孝「わが国における（無形をふくむ）石油遺産の現状と利活用の提案」
 - ・天野武弘、吉岡慎一「鶴岡で発見された 1880

年製の手回し式ガラ紡機」

- ・大島一朗「官営釜石製鐵所におけるレール製造計画発見とその意義」

② 昼食・休憩 11:40~12:20

③ トヨタ産業技術記念館見学会 12:25~13:25
案内 成田年秀

④ 講演 13:30~15:10

・鈴木 博（三菱重工(株) 民間機事業部 マネージング・エキスパート）

「三菱重工の航空機開発の概要 ゼロ戦から MRJ、H-IIA/B ロケットへ」

・成田年秀（トヨタ産業技術記念館 副館長）

「トヨタ産業技術記念館における煉瓦の建物、煙突基礎の保守・保存活動」

⑤ 研究発表（第2部） 15:20~17:00

・市原猛志「鉄鋳滓煉瓦と赤煉瓦、煉瓦様構造物の相互比較について ―日本における鉄鋳滓煉瓦技術に関する研究・序論―」

・井上忠恵（産業考古学会・評議員）「長野県の産業発展と産業遺産」

・二階堂達郎、貝柄徹「大阪湾岸臨海工業地帯の海上景観調査(中間報告)」

・寺沢安正（中部産遺研）「立梅用水を利用した波多瀬発電所」

・大橋公雄（中部産遺研）「山本工務所製作の名古屋港と四日市港の可動橋の技術的特徴」

懇親会

10月28日(土) 17:30~19:30

トヨタ産業技術記念館・レストラン「ブリックエイジ」

参加費 5,000 円

プレ・ツアー

10月27日(金) 12:10~17:00 頃

テーマ：四日市旧港の産業遺産

（希望者のみ）10:00 名古屋工業大学附属図書館前集合（JR 鶴舞駅名大病院口から東へ約 500m・徒歩約 8 分）・図書館収蔵の山本卯太郎の跳開橋の論文と図面を見学、11:00 頃名古屋工業大学附属図書館出発、JR 名古屋駅 11:37 発快速みえ 7 号に乗車、JR 四日市駅まで移動（12:09 着）。

（参加者全員）12:10 JR 四日市駅集合、徒歩にて

「末広橋梁」(全国唯一の鉄道可動橋・重文)、「臨港橋」、「四日市旧港潮吹き防波堤」を見学した後、JR四日市駅まで移動(徒歩移動距離約5km)。その後路線バスにより近鉄四日市駅前まで移動、「四日市公害と環境未来館」見学。

17:00頃近鉄四日市駅現地解散。

参加費:500円(資料代)交通費実費は各自負担。

メイン・ツアー

10月29日(日)10:00~15:15

○JR・近鉄「松阪駅」南口10:00集合

<名古屋駅からの一例として>

JR名古屋駅8:37快速みえ→松阪駅着9:54

近鉄名古屋駅8:50特急→松阪駅着9:58

○テーマ:松阪の産業遺産探訪

○主な見学先と行程

- ・10:00松阪駅にて貸し切りバス乗車(定員25名、先着順になります)
 - ・御糸織物工場見学(松阪木綿唯一の織布工場、ベルト掛け織機稼働、藍染め工房)
 - ・榎田川突堤(石積みの河口突堤)、綿花畑、旧カネボウ工場跡(煉瓦造、国登録)
 - ・松阪もめん手織りセンター(昼食・相可高校「高校生レストラン」の弁当、昼食後、希望者は手織り体験、または徒歩5分前後の本居宣長旧邸宅、松阪商人の館の見学)
 - ・松阪市歴史民俗資料館(松阪木綿の歴史展示館)
 - ・丹生鉱山跡(水銀鉱山、奈良大仏の金メッキに使用、昭和の時代まで採掘された歴史的鉱山)
 - ・立梅用水井堰(灌漑と発電併用の珍しい用水、国登録、世界かんがい施設遺産登録)
 - ・15:15松阪駅解散予定
- <松阪駅からの一例として>
- 近鉄松阪駅15:30特急→近鉄名古屋駅16:38着
近鉄松阪駅15:33急行→近鉄名古屋駅16:52着
JR松阪駅15:47快速みえ→JR名古屋駅17:07
- 参加費:3,500円(資料代・弁当代・入館料を含む、松阪駅までの交通費は各自で)
- 協力:松阪もめん協議会(会長:御糸織物(株)社長西口裕也)

大会参加費

- ・会員及び共催の中部産業遺産研究会会員、トヨタ産業技術記念館関係者は1,000円、学生500円
- ・会員以外、共催関係者以外は2,000円
- ・昼食代(10月28日分)1,000円

参加申込方法

- ①参加を希望される方は、同封の郵便振替用紙に必要事項を記入の上、期限までに振り込んで下さい。
 - ②郵便振替用紙にての申込期限 **10月10日(火)**
10月10日以降の参加申込は、参加費等は当日お支払い下さい。
 - ③FAX、郵便、メールでのお申込は下記のようにお願いします。
 - ・住所、氏名、生年月日、連絡先、メールアドレスを明記して、下記大会実行委員会事務局石田正治までご連絡下さい。
 - ・以下から申し込み内容を選択して下さい。
全国大会、大会当日(10月28日)の昼食(弁当)、懇親会、プレ・ツアー、メイン・ツアー
 - ・郵送(FAX)後、直ちに総額を振り込んで下さい。
- 郵便振替口座 00170-1-418882**
- ④入金をもって参加申込とします。
払い込後の返金には応じかねます。

参加申込連絡先

産業考古学会全国大会実行委員会事務局

〒440-0093 愛知県豊橋市横須賀町元屋敷1-4
石田正治方

E-mail: ishida96@tcp-ip.or.jp

宿泊について

名古屋駅周辺に宿泊施設は数多くありますが、早めの予約をして頂いた方が安心かと思えます。

その他

全国大会会場でパネル等の展示、書籍等の販売、資料の配布を希望される場合は、事前に実行委員石田正治(ishida96@tcp-ip.or.jp)にご相談ください。

◆全国大会(名古屋)案内のWEBサイト

http://www.tcp-ip.or.jp/~ishida96/IA/JIAS_NC_2017.html

中部産業遺産研究会会員の皆さまへ
産業考古学会 2017 年度全国大会事前参加登録のご案内

- (1) 期日と会場 2017年10月27日(金) プレ・コンgresツアー「四日市旧港の産業遺産」
10月28日(土) 2017年度全国大会 トヨタ産業技術記念館
10月29日(日) メイン・ツアー「松阪の産業遺産探訪」

(2) 参加費

	種別	金額	備考
10/28 大会 参加費	会員	1000円	中部産遺研会員
	学生	500円	
	非会員(一般)	2000円	
10/28	懇親会代	5000円	
10/28	大会時の昼食代	1000円	
10/27(金)	プレ見学会資料代	500円	
10/29(日)	松阪の産業遺産見学会	3500円	松阪駅集合

■郵便振替用紙にての参加申込締切：10月10日(火)まで。

10月10日以降の申込については、参加費は当日お支払い下さい。

参加申込連絡を電子メール ishida96@tcp-ip.or.jp または下記石田正治宛郵送して下さい。

■参加費や懇親会費等は、下記郵便振替払込用紙にて事前払込を御利用ください
振込先 下段の郵便振替口座払込取扱票をご利用下さい。

- (3) 学会事務局 産業考古学会
〒113-0034 東京都文京区湯島1-12-5 小安ビル6F
(株)プラスワン気付 (TEL/FAX 03-3835-2476)
参加申込連絡先 石田正治
〒440-0093 愛知県豊橋市横須賀町元屋敷1-4-2
e-mail : ishida96@tcp-ip.or.jp
Tel : 090-7318-5524 (石田)

払込取扱票

00																		
口座記号番号										金額	千	百	十	万	千	百	十	円
001701418882										*								
加入者名	産業考古学会													料金	備考			
通欄	産業考古学会 2017 年度全国大会参加費等(事前登録 10/10 まで) ※該当項目にチェックして、総額を振り込み下さい。 大会参加費：会員 1000円 () 一般 2000円 () 学生・院生 500円 () 懇親会費(10/28)：会員・学生・一般 5000円 () 昼食代(10/28)：1000円 () 10/27 プレ見学会資料代：500円 () 10/29 見学会参加費：3500円 ()																	
ご依頼人	おなまえ													日附	印			
おところ(郵便番号) () (電話番号) ()																		
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)(承認番号 第 号)																		
これより下部には何も記入しないでください。																		

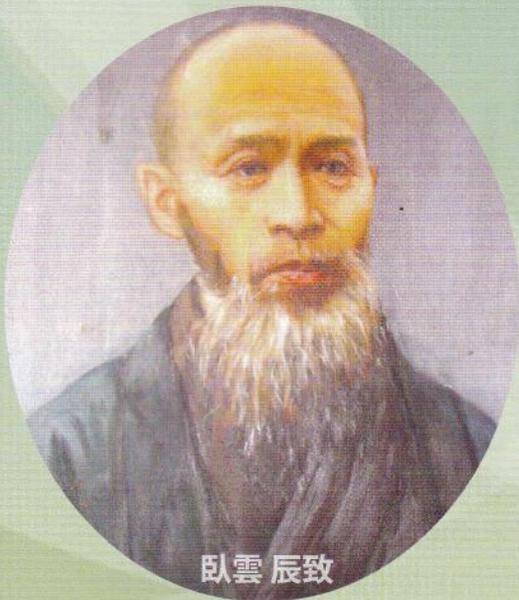
振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	001701418882											
加入者名	産業考古学会											
金額	千	百	十	万	千	百	十	円				
おなまえ												
ご依頼人											様	
(消費税込み) 料金	円										日附	印
備考												

お支払いは左記の用紙にて
最寄りの郵便局より
お願いいたします。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。
切り取らないでお出ください。

この受領証は、大切に保管してください。



臥雲 辰致

「臥雲辰致生誕 175 年 記念コンサート」

— 『臥雲辰致・日本独創のガラ紡
— その遺伝子を受け継ぐ—』 出版記念—



2017年

10月5日(木)

18:00開場 18:30開演

まつもと市民・芸術館 小ホール



入場無料

指揮 / 柴田翔

管弦楽 / セントラル愛知交響楽団

【お問合せ】

ガラ紡を学ぶ会 ☎090-8499-5118 (臥雲)
E-mail / gaun@giga.ocn.ne.jp

【プログラム】

オッフェンバック

序曲「天国と地獄」

モーツァルト

ディヴェルティメントニ長調 K.136

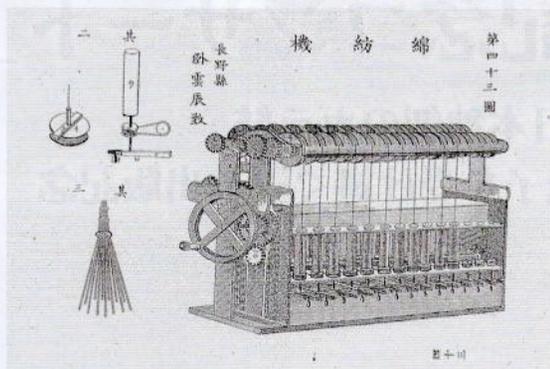
ビゼー

組曲「アルルの女」よりファランドール

ベートーヴェン

交響曲第5番ハ短調「運命」第1楽章

ガラ紡：臥雲辰致が発明した綿紡機



『明治十年内国博覧会勲業出品』

臥雲辰致 (1842-1900)

ガラ紡を発明した人物。天保13年(1842)、長野県安曇平(日本アルプスの東側の平野)にある安曇野市堀金三田の横山家の次男(横山栄弥)として生まれた。故あって、お寺(安楽寺)の住職となるも、廃仏毀釈で還俗、その際、臥雲辰致を名乗った。明治4年(1871)のこと。その後、ガラ紡の発明に力を入れ、明治10年(1877)、第一回内国勲業博覧会に出品、鳳紋賞牌を受賞。これが契機となり、ガラ紡が岡崎、三河地区をはじめとし、各地で設置、稼働するようになった。イギリス産業革命時のジェニー精紡機、ウォータフレーム、ミュール精紡機に優るとも劣らない発明。



指揮 / 柴田翔

名古屋音楽大学卒。指揮法を稲垣宏樹氏に師事。ファゴットを北川陽子氏に室内楽を北川陽子、井上京、小川和代の各氏に師事。

これまでに、松尾葉子、古谷誠一、井村誠貴、倉知竜也、小島岳志、竹本泰蔵、角田鋼亮、園田隆一郎、稲垣宏樹、千住明、松井和彦、飯守泰次郎の各氏の下で副指揮をつとめる。他にも名古屋市文化振興事業団をはじめ東海地区のオペラ団体の副指揮をつとめる。名古屋二期会室内オペラ「魔笛」、名古屋音楽大学オペラ研究会「コジ・ファン・トゥッテ」「フィガロの結婚」「ガラコンサート」、稲葉地オペラ振興会「ドン・パスクワレ」「愛の妙薬」「ドン・ジョヴァンニ」「コジ・ファン・トゥッテ」「フィ

ガロの結婚」奈良県ふたかみ市民オペラ「フィガロの結婚」(関西弁上演)、池田町・常滑市「ヘンゼルとグレーテル」などを指揮。ナゴヤディレクターズバンドトレーナー、蟹江吹奏楽団音楽監督。他にもアマチュアオーケストラや吹奏楽団、合唱団での指揮者やトレーナーとしても活動。知多市勤労文化会館ミュージックアドバイザー。

管弦楽 / セントラル愛知交響楽団



1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。1990年から岩倉市の好意による練習場の無償借用や事業補助を機会に、1997年セントラル愛知交響楽団と名称を変更。2009年4月より一般社団法人として再出発、2013年に創立30周年を迎えた。2014年4月から音楽監督にチェコの名匠レオシュ・スワロフスキーが就任。指揮者陣に名誉指揮者小松長生、特別客演指揮者松尾葉子、首席客演指揮者齊藤一郎、正指揮者古谷誠一、指揮者角田鋼亮を迎え、楽団として新たなスタートを切る。定期演奏会、コンチェルトシリーズ、「第九」演奏会等の自主公演の他、バレエ、オペラ、ミュージカル等の依頼公演にも数多く出演。海外では2007年7月、8月中国内蒙古自治区、2009年9月タイ・バンコク(文化庁国際交流支援事業)で公演を行い、成功を収めた。独自の構成によるプログラム、幅広いレパートリーを生かした学校公演、演奏者と聴衆の距離を縮めるような室内楽

公演にも積極的に取り組み、年間約100回の公演はどれも好評をもって迎えられている。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋市芸術奨励賞」2007年「第2回名古屋音楽ペンクラブ賞」受賞。